ALLIANCEBERNSTEIN®

販売用資料
2024年4月

# アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ

(年2回決算型)/(予想分配金提示型)

## 愛称 GGO

追加型投信／内外／株式

R&I ファンド大賞 2022
R&I Fund Award 2022

「R&Iファンド大賞 2022」『最優秀ファンド賞』受賞
投資信託 外国株式ESG 部門

※受賞対象ファンドはアライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ(年2回決算型)です。
※アワードの詳細は20頁を参照ください。

■ 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

中国銀行

【商 号 等】株式会社中国銀行
登録金融機関 中国財務局長(登金) 第2号
【加入協会】日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会

■ 設定・運用は

アライアンス・バーンスタイン

【商 号 等】アライアンス・バーンスタイン株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第303号
【加入協会】一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／日本証券業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

FUTURE OF ESG
Investing for a Sustainable Future

# “企業の成長機会”と“社会的課題の解決”が結びつく時代へ

今、世界中で加速していること。
それは、サステナブル(持続可能)な未来の実現に向けた多種多様な企業の取り組みである。
気候変動問題と向き合い、資源エネルギーの効率的かつ、革新的な利用にまい進する企業。
不平等を無くし、誰もが健康を追求できる良質な医療にアクセスする仕組みを創造する企業。
IT格差を無くし、人々が平等に活躍できるようなエンパワーメント溢れた社会の実現を担う企業。
今は、短期的な利益ではなく、世代が変わっても豊かな未来を維持し続けることができる
ビジネスを時代 は求めている。
だからこそ、これら気候変動、健康、エンパワーメントの分野における社会的課題を解決する
ビジネスは、長期にわたって持続可能な成長にもつながるのだ。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

# サステナブルな未来に欠かせない
# 3つの成長領域

## 気 候

気候変動問題への取り組みは、今まさに加速し始めています
クリーン・エネルギー生産業界のみならず製造や運輸、インフラなどエネルギー利用業界でも資源効率を高める、“地球との共生”を実現する企業には、今後大きな成長機会が見込まれます

## エンパワーメント

一人ひとりの多様性が尊重され、潜在能力を発揮できる“80億総活躍社会”の実現は、バランスの取れた地球社会に必須です
そのような社会の実現に貢献する、金融やテクノロジーを含む各種インフラ・サービスを提供する企業に、持続的な成長が期待されます

環境

人

社会

## 健 康

誰もが心身ともに健康でいられることは、新興国だけでなく先進国でも共通の課題です
革新的医療の開発企業はもちろん、身体的・精神的に健康でいられる状態“ウェル・ビーイング”を実現できる製品・サービスには、多大なる需要が予想されます

上記は、資料作成時点におけるアライアンス・バーンスタイン（以下、「AB」。アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。アライアンス・バーンスタイン株式会社はABの日本拠点です。）の見解であり、将来変更になる可能性があります。画像はイメージです。出所：国際連合、AB

# 3つの成長領域から魅力的な「サステナブル投資テーマ」を策定

気候、健康、エンパワーメントの成長領域から、持続的に高い成長が期待できる「サステナブル投資テーマ」を策定

## 気候

### クリーン・エネルギー

コスト低減と政府支援を背景に再生可能エネルギーへの構造的シフトは加速

### 資源の効率利用

資源やエネルギーを有効活用し環境負荷の少ない経済構造へのシフトは急速に進む

### 衛生とリサイクル

公衆衛生システムの改善や資源のリサイクル、環境負荷の少ない破棄・処理技術も進展

### サステナブル・モビリティ

誰でも利用可能、安全・効率的かつ環境負荷の低い移動手段に対する需要も大きく増大

## 健康

### 医療イノベーション

DNA配列分析コストの急速な低下に伴う新規治療法・診療法の開発など医療科学技術は新たな領域へ

### ウェル・ビーイング

身体的・精神的・社会的に全て満たされた状態を示す“ウェル・ビーイング”の関連市場はますます拡大

### 食の安全とクリーンな水

世界人口が増加する中、農業の生産性向上や衛生的な水の供給ソリューションへの需要も拡大

### 良質な医療へのアクセス

世界人口の半数以上は、物理的あるいは経済的な理由により、必要な医療サービスを享受できていない

## エンパワーメント

### 金融アクセス

中小企業や個人が誰でも金融システムを効率的に利用できる技術・サービス市場は拡大

### 教育・雇用サービス

サステナブルな未来に必須な、質の高い教育や雇用サービスへの需要も拡大

### サステナブル・インフラ

“80億総活躍社会”の屋台骨となる健全な都市インフラの充実化も急がれる

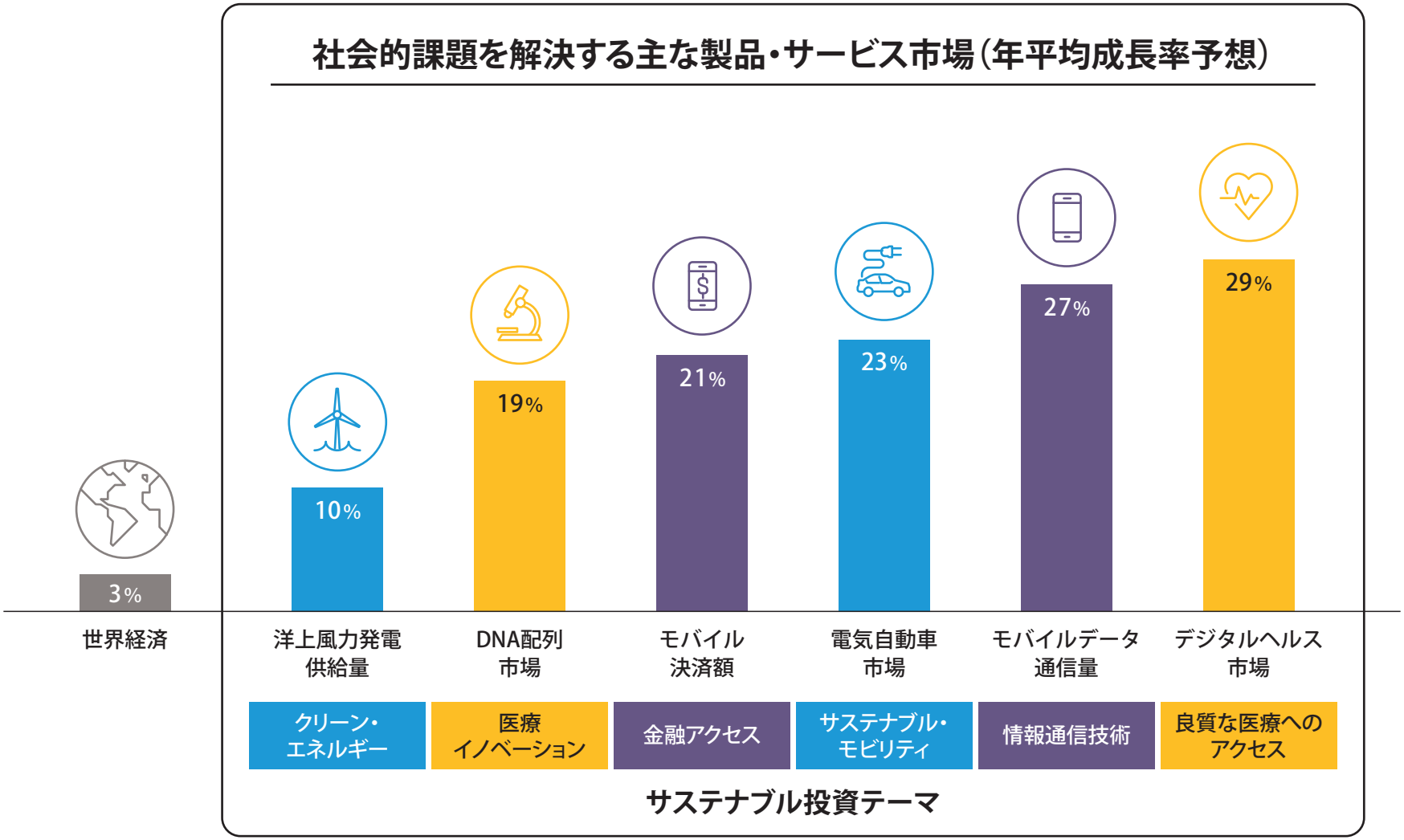
### 情報通信技術

健全な経済社会に不可欠な、誰もが利用可能な情報通信技術の市場もますます拡大

過去の実績や分析と現在の予想は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。予想は今後変更される可能性があります。画像はイメージです。
※2024年1月末時点のサステナブル投資テーマであり、今後変更される可能性があります。
出所：AB

# 「サステナブル投資テーマ」に存在する多くの魅力的な投資機会

## 社会的課題を解決する製品やサービスの多くは、世界経済の成長率を上回る高い成長が見込まれている




**過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。予想は今後変更される可能性があります。**
期間：世界経済2023年－2028年（2023年10月時点）、洋上風力発電供給量2017年－2030年（2020年6月時点）、DNA配列市場2021年－2026年（2021年8月時点）、モバイル決済額2019年－2027年（2023年4月時点）、電気自動車市場2021年－2027年（2022年7月時点）、モバイルデータ通信量2020年－2028年（2023年6月時点）、デジタルヘルス市場2019年－2026年（2020年6月時点）。世界経済は実質GDP成長率。全てグローバル。括弧内はそれぞれの予想時点。
出所：国際通貨基金(IMF)、国際再生可能エネルギー機関、モルドール・インテリジェンス、BCCリサーチ、グローバル・マーケット・インサイツ、エリクソン、スタティスタ、AB

# 投資哲学 ～SDGsとESGを活用し、「社会的課題を解決する成長企業」を選別～

## ▶ 投資哲学

社会的課題を解決することにより成長が見込まれる企業への投資を通じ、優れた投資リターンを創出することを追求

## ▶ SDGsとESGの活用

「サステナブル投資テーマ」から「社会的課題を解決する成長企業」を選別するため、AB独自のSDGs分析と対話を通じたESG評価を活用

## ▶ 運用担当責任者 ～ESG投資の第一人者の1人～

**ダン・ロアティ（Daniel C. Roarty）**

最高投資責任者（CIO）-サステナブル・グローバル・テーマ株式運用

- ●業界経験31年　2013年から現職　ニューヨーク在籍（アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー）
- ●2018年国連サステナブル投資カンファレンスでスピーチを行うなど、ESG投資における第一人者として、幅広く啓蒙活動を実施
- ●ハーバード・ビジネス・スクールのマイケル・ポーター教授と共同で「共通価値の創造（CSV：Creating Shared Value）」概念を提唱したマーク・クラマー氏の論文でExpert Advisorとして引用される
- ●フェアフィールド大学にて学士号（金融）、ペンシルバニア大学ウォートン校にて経営学修士号（MBA）取得

投資哲学およびSDGsとESGの活用における画像、図はイメージです。
出所：AB

# 独自の運用プロセス① ～投資機会を漏れなく捉える独自のアプローチ～

## 1 定量アプローチ【SDGsスクリーニング】

全世界の上場企業
8,000以上の銘柄

**SDGsスクリーニング**

100以上の製品・サービスの売上が25%以上ある銘柄を
ビッグデータ分析を用いて抽出

調査対象ユニバース
2,500銘柄以上

このうち、2,000銘柄以上が
参考指数*の非構成銘柄

### 国連SDGsを徹底分析し、投資機会を漏れなく追求

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

- 17の目標、169のターゲットから構成される国連SDGs（持続可能な開発目標）は、「持続可能な社会」の実現に向け、世界193ヵ国がその達成にコミットする世界共通の目標。
- 当ファンドでは、「社会的課題の解決」に貢献できる成長企業を漏れなく捉えるため、SDGs169ターゲットを徹底的に分析し、幅広い投資機会を追求。

SDGsターゲットの分析 → SDGs達成に貢献する100以上の製品・サービスの特定 → SDGsスクリーニング

### SDGsを活用した独自のアプローチにより、幅広い投資機会の追求が可能に

| | 当ファンド | 一般的なアクティブ運用 |
|---|---|---|
| スクリーニング対象 | 全世界の上場企業8,000以上の銘柄<br>（時価総額10億米ドル以上。中国A株を除く） | 株価指数の構成銘柄 |
| スクリーニング方法 | SDGs達成に貢献する銘柄<br>（SDGs関連製品/サービスの売上25%以上） | 流動性や時価総額 |
| 調査対象銘柄数 | 2,500銘柄以上<br>（うち2,000銘柄以上が参考指数の非構成銘柄） | 指数構成銘柄数より少ない |
| 投資機会の広さ | ○ | △ |

※上記は、当ファンドと一般的なアクティブ運用を比較した一例であり、全てを網羅しているわけではありません。

※上記の内容は、2024年1月末時点の運用プロセスであり、今後変更される可能性があります。
* 当ファンドはMSCIワールド・インデックス（配当金込み、円ベース）を参考指数とします。詳しくは16頁をご覧ください。
出所：国際連合、AB

# 独自の運用プロセス② ～サステナブル投資テーマを起点とした徹底リサーチ～

## 2 定性アプローチ【サステナブル投資テーマを起点とするグラスルーツ（草の根）リサーチ】

**サステナブル投資テーマから最も恩恵を受ける銘柄を特定**

3つの成長領域から、魅力的な投資機会「サステナブル投資テーマ」を策定。
サステナブル投資テーマから最も恩恵を受ける企業を選定

調査対象ユニバース
2,500銘柄以上

組入候補
銘柄群
約400銘柄

グラスルーツ（草の根）リサーチ

組入銘柄
30-60銘柄

### サステナブル投資テーマ*の策定

| 気 候 | 健 康 | エンパワーメント |
|---|---|---|
| クリーン・エネルギー | 医療イノベーション | 金融アクセス |
| サステナブル・モビリティ | 良質な医療へのアクセス | 情報通信技術 |
| 資源の効率利用 | ウェル・ビーイング | 教育・雇用サービス |
| 衛生とリサイクル | 食の安全とクリーンな水 | サステナブル・インフラ |

3つの成長領域におけるさまざまな投資テーマへの洞察を深め、長期的な成長性が見込まれる銘柄を絞り込むため、気候問題や社会的問題に取り組む世界各地の企業や社会を訪問し、徹底したグラスルーツ・リサーチを実施

**組入銘柄の特定**

▶今後5年間の長期キャッシュフロー予想
▶ESG評価や事業リスク評価等によるリスク分析

☑ 社会貢献度の高い高成長企業
☑ 高い投資魅力度

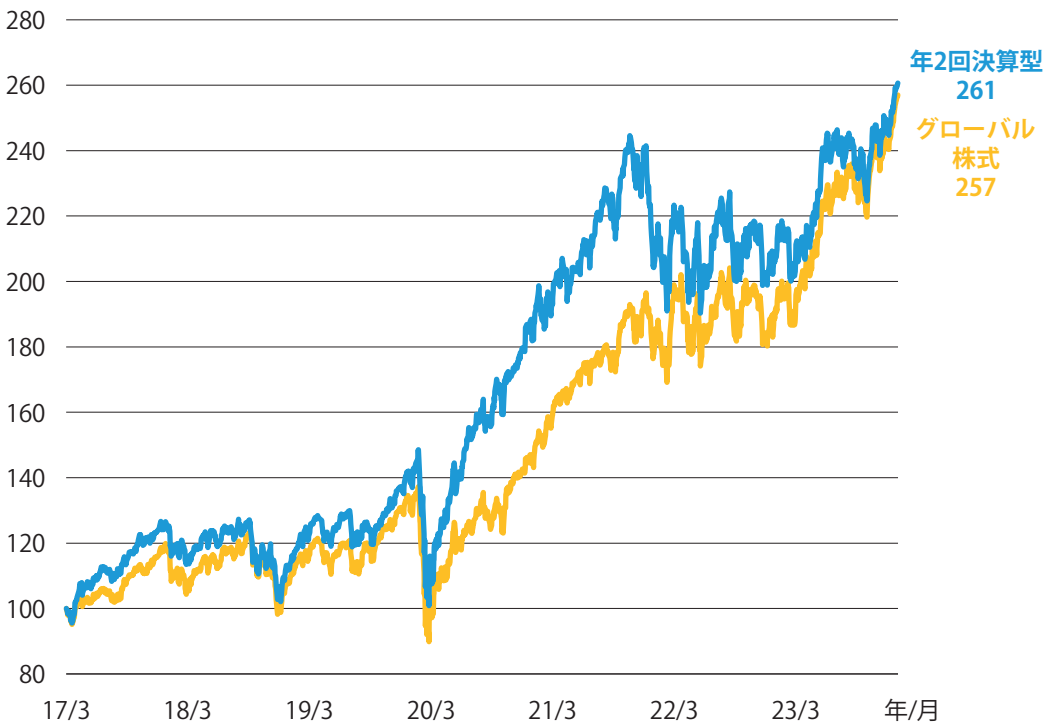
※上記の内容は、2024年1月末時点の運用プロセスであり、今後変更される可能性があります。
* 2024年1月末現在のサステナブル投資テーマであり、今後変更される可能性があります。
出所：AB

# グローバル株式市場を長期で上回る運用実績（年2回決算型）

現運用体制となった2017年4月以降のパフォーマンスは、サステナブル投資テーマから厳選した組入銘柄が奏功し、グローバル株式市場を長期で上回る

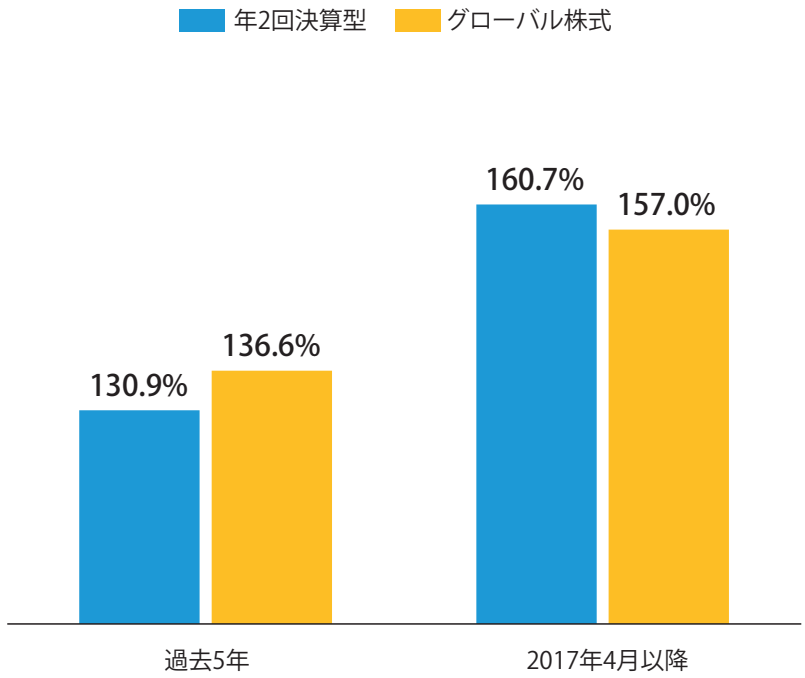
## 年2回決算型の運用実績*

分配金（課税前）再投資ベース／費用控除後




## 期間別騰落率**

分配金（課税前）再投資ベース／費用控除後



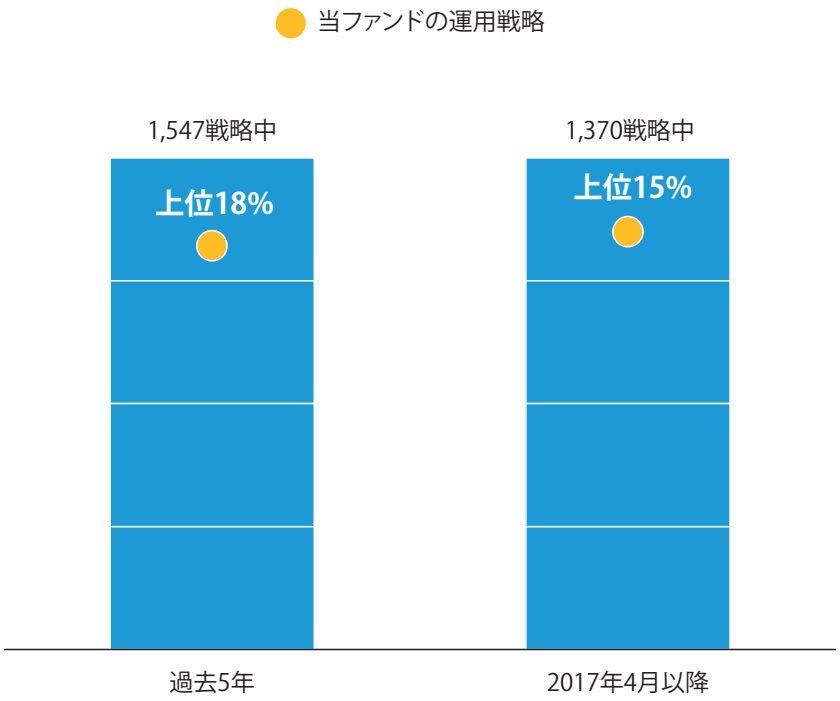

**過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。**
年2回決算型の運用実績は、分配金（課税前）再投資基準価額を用いて指数化しています。基準価額は、運用管理費用（信託報酬）控除後のものです。分配金（課税前）再投資基準価額とは、課税前分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスです。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。
* 期間：2017年3月31日－2024年1月31日。2017年3月31日を100として指数化。グローバル株式は参考指数MSCIワールド・インデックス（配当金込み、円ベース（ブルームバーグのデータをもとにABにて円換算））。日次ベース。
** 2024年1月31日時点。2017年4月に現体制での運用開始。年2回決算型の設定日は1998年7月31日です。
出所：ブルームバーグ、AB

# 【ご参考】当ファンドの運用戦略

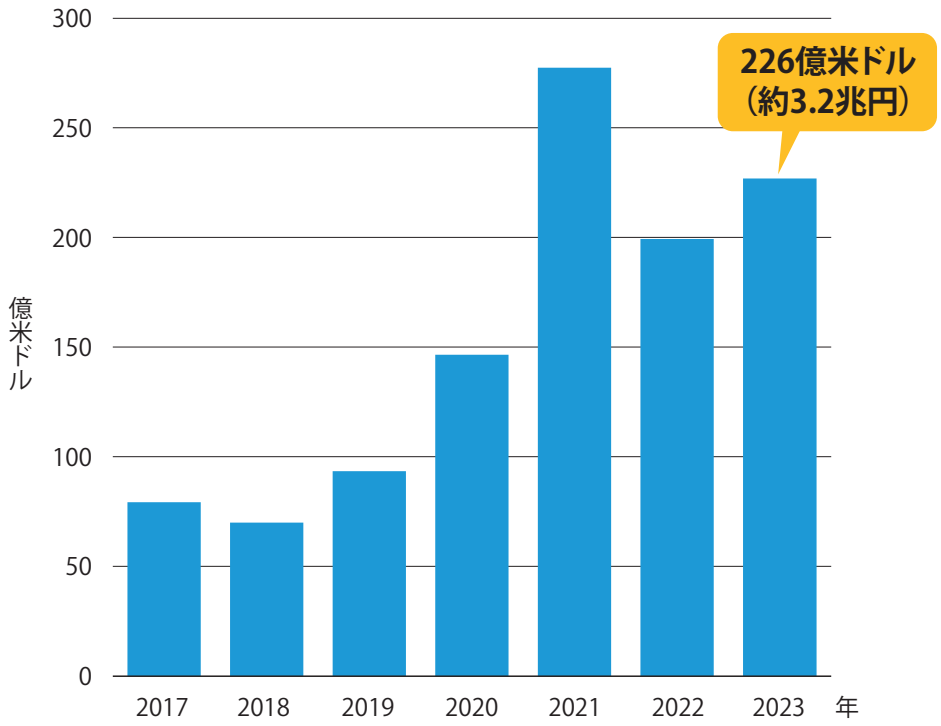
## 長期の優れた運用実績により、当ファンドの運用戦略の残高は約3.2兆円の規模を有する

### 当ファンドの運用戦略のリターン・ランキング*

（「全グローバル株式」ユニバース）




### 当ファンドの運用戦略プラットフォームの推移**




当ファンドの運用戦略のコンポジットのリターン（費用控除前）をもとに計算したものであり、当ファンドの実績ではありません。

**過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。**

※コンポジットとは、類似の投資戦略、投資方針に基づいて運用される1つ以上のファンドの運用実績を、一定基準に従って評価したものであり、投資戦略ごとの運用実績を表すために用いられます。

* 2023年12月末時点。「全グローバル株式」は、eVestmentによるAll Global Equityカテゴリー。当ファンドの運用戦略とはサステナブル・グローバル・テーマ株式戦略。運用費用等控除前。米ドルベース。

** 期間：2017年－2023年、年次ベース。当ファンドの運用戦略プラットフォームとは、サステナブル・テーマ株式戦略の地域別特化戦略を含む。2023年12月末時点の残高を1米ドル=141.83円（2023年12月末時点の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値）で換算しています。

出所：eVestment、AB

# グラスルーツ（草の根）リサーチによるテーマ調査の事例

●気候問題や社会的問題が世界各国の現地社会にどのような影響を与えているのか、現地を訪問して一般市民や企業との対話を通じて洞察を深め、真に有効な解決策となり得るテーマの調査や、解決策を提供できる企業を特定していきます。
●このようなスタイルのリサーチを、ABではグラスルーツ・リサーチと呼び、最終的な組入銘柄の決定に役立てています。

## 合成生物学

組織、細胞など生物の構成要素を部品とみなし、それらの遺伝子を人為的に設計し、組み合わせることで目的の物質を人工的に構築する学問分野。さまざまな製品の製造方法に大きな影響を与えることが予想されており、“第五次産業革命”を起こすとの見方もある。

**当ファンドでの注目銘柄：ダナハー（同社の紹介は14頁をご覧ください。）**

### 合成生物学のイメージ

合成生物学

細胞を プログラミング → サステナブル 製品の製造

（ご参考）システム開発

システムを プログラミング → アプリケーション などの制作

## 合成生物学の進展

**足もと、バイオテクノロジーの進化による コスト低下やコンピューティング・テクノロジーを活用したDNA解析・編集技術が進展**

DNAシーケンシング* のコスト低下

コストは2003年比で **100万分の1以下**

AI／機械学習 の活用

ヒトゲノムの塩基数 **約30億個**の分析

**膨大な遺伝子情報を低コストで分析できるようになり数多くの物質生成が可能に**

**合成生物学を用いて生成可能と推定される物的資源****

**約60%**

**＜実際に生成されている物的資源の具体例＞**

スキンケア製品に含まれる保湿材 **スクアレン**

従来の原料：サメの肝油
**合成生物学を用いた原料：サトウキビ**

バッグや衣類に使われる素材 **ナイロン**

従来の原料：石油
**合成生物学を用いた原料：バイオマス**

## 市場規模予測

**合成生物学を用いたバイオエコノミーの市場規模（2030年－2040年）**

**約200-400兆円**

**＜活用が期待される分野＞**

消費財／素材／エネルギーなど
**約44-121兆円**

石油を使わない プラスチック精製など

農業／養殖／食品
**約88-132兆円**

動物を必要としない 培養肉の生産など

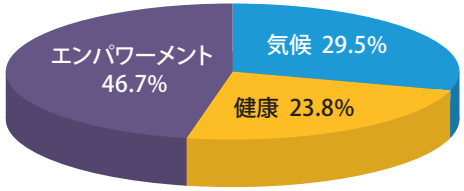
医療／ヘルスケア
**約55-143兆円**

細胞や臓器の 人工培養など

過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。予想は今後変更される可能性があります。上記の個別の銘柄・企業については、あくまで当ファンドの説明のための例示であり、いかなる個別銘柄の売買等を推奨するものではありません。また、当ファンドにおける組入れを示唆・保証するものではありません。画像はイメージです。
* DNA（核酸）を構成する4つの塩基であるアデニン（A）、チミン（T）、グアニン（G）、シトシン（C）の配列を決定すること。** 経済価値のある物的資源。
出所：McKinsey、経済産業省 “バイオものづくり革命の実現（2023年4月）”、AB

# マザーファンドのポートフォリオ構成① （2024年1月末時点）

## 3つのサステナブルな成長領域別構成比




## 組入上位10銘柄

（銘柄数：56銘柄）

| | 銘柄名 | 国 | セクター | 銘柄概要 | 比率 | サステナブル投資テーマ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | マイクロソフト | 米国 | 情報技術 | 世界的に著名なソフトウェアおよびクラウドサービス会社。「テクノロジーを全ての人に」という理念に基づき、あらゆる国のあらゆるセクターにおける技術力を高め、イノベーションを促進。 | 3.4% | 情報通信技術 |
| 2 | VISA | 米国 | 金融 | クレジットカード決済サービス世界大手。より幅広い個人・企業に、安心・安全かつグローバルな決済システムへのアクセスを提供。 | 3.3% | 金融アクセス |
| 3 | ウエイスト・マネジメント | 米国 | 資本財・サービス | 廃棄物管理サービスにおけるアメリカ最大手企業。汚染削減、廃棄物の発生抑制、資源循環の向上に貢献しており、持続可能な社会の実現のために不可欠な存在。 | 2.9% | 衛生とリサイクル |
| 4 | MSCI | 米国 | 金融 | ポートフォリオ管理用の分析や指標を作成し、グローバル金融市場で必要不可欠な投資意思決定サポート・ツールを提供。 | 2.6% | 金融アクセス |
| 5 | アクセンチュア | 米国 | 情報技術 | 米国のコンサルティングサービス会社。デジタル・トランスフォーメーションをけん引するほか、企業のESGに関連する取り組みが企業価値に与える影響を分析し、予測するサービスも提供。 | 2.6% | 情報通信技術 |
| 6 | パートナーズ・グループ・ホールディング | スイス | 金融 | プライベート市場に特化した投資運用会社。インフラ、株式、債券、不動産などのセグメントを通じて事業を展開するなか、投資先企業に対してESG推進を促し、企業運営方法の変化に貢献。 | 2.6% | サステナブル・インフラ |
| 7 | ドイツ証券取引所 | ドイツ | 金融 | ドイツの資本市場インフラのリーディングカンパニー。資本市場の透明性と効率性を向上させる決済サービスやデータ分析を提供するとともに、グリーンボンドの売買や排出権取引を促進。 | 2.4% | 金融アクセス |
| 8 | インチュイット | 米国 | 情報技術 | グローバルで会計ソフトおよび専門家向け税務ソフトを販売。提供するプラットフォームを通じて、金融サービスへのアクセスを直接支援している顧客数は約1億件。 | 2.4% | 金融アクセス |
| 9 | アドビ | 米国 | 情報技術 | 米国のソフトウェア会社。世界のデジタル化が加速するなか、企業の経済活動の効率化に役立つツール等を提供。ビッグデータおよびAIにより、製品の品質を向上させ、顧客ニーズに対応。 | 2.3% | 情報通信技術 |
| 10 | ロンドン証券取引所グループ | イギリス | 金融 | イギリスの資本市場インフラのリーディングカンパニー。資本市場の透明性、効率性、リスク管理を向上させる決済サービスを提供。また、上場企業のESG情報開示に関する支援や推進も行う。 | 2.3% | 金融アクセス |
| （組入上位10銘柄計） | | | | | 26.8% | |

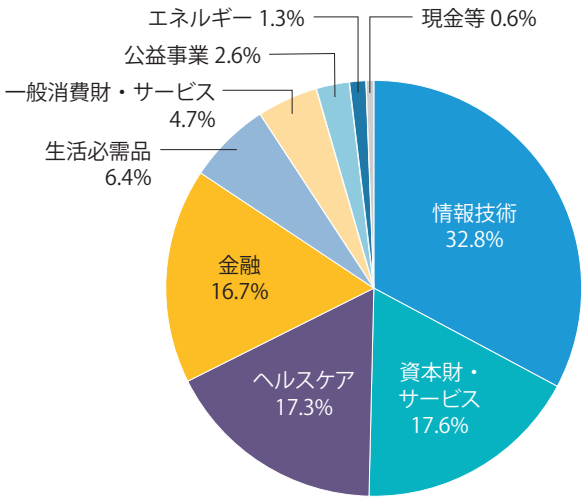
**過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。上記銘柄は、当ファンドの運用内容の説明のためのものであり、アライアンス・バーンスタイン株式会社が推奨または取得のお申込みの勧誘を行うものではありません。**

マザーファンドはアライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド。3つのサステナブルな成長領域別構成比は、対株式組入比率合計の比率です。組入上位10銘柄の比率は、対純資産総額の比率です。小数点第2位を四捨五入しています。同一発行体で種類の異なる株式の比率は合算しています。セクターは、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard（GICS）の分類で区分しています。3つのサステナブルな成長領域およびサステナブル投資テーマは、ABの分類に基づきます。各銘柄の背景色は、各銘柄のサステナブル投資テーマが属する3つのサステナブルな成長領域を示しています。

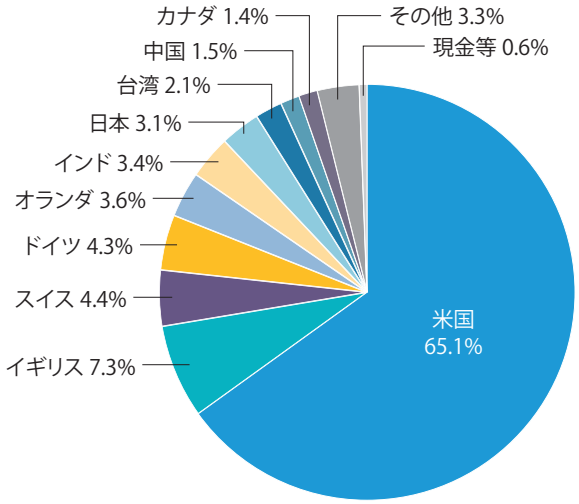
出所：AB

# マザーファンドのポートフォリオ構成② （2024年1月末時点）

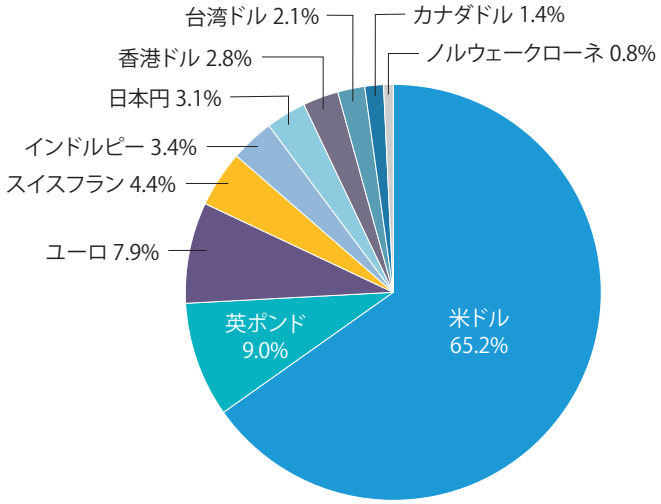
## セクター別配分




## 国別配分



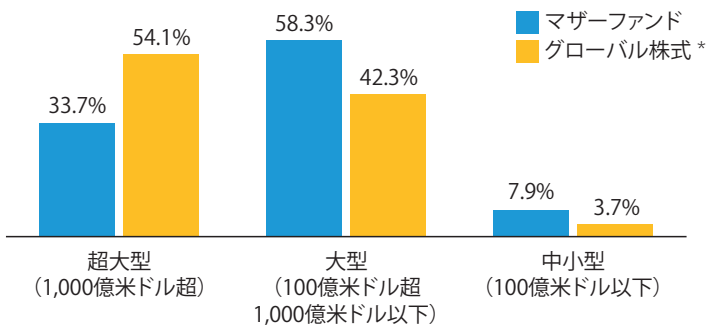

## 通貨別配分




## ポートフォリオ特性

| | マザーファンド | グローバル株式* |
|---|---|---|
| EPS（1株当たり利益）成長率（2025年予想）** | +15.0% | +14.1% |
| 予想ROE（株主資本利益率）（今後12ヵ月） | 21.5% | 17.7% |
| 予想PER（株価収益率）（2025年予想利益ベース） | 19.5倍 | 16.1倍 |
| PBR（株価純資産倍率） | 4.7倍 | 3.1倍 |

## 規模別配分



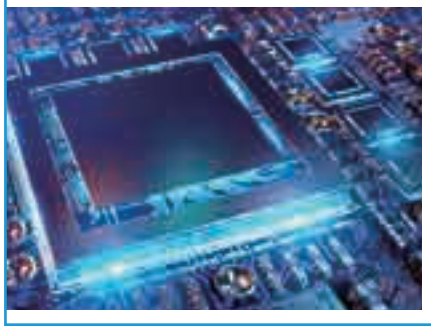

**過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。予想は今後変更される可能性があります。**
マザーファンドはアライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド。セクター別配分、国別配分については、対純資産総額の比率です。セクター別配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard（GICS）の分類で区分しています。国別配分は、発行体の国籍や事業基盤等を考慮して区分しています。通貨別配分および規模別配分については、対株式組入比率合計の比率です。小数点第2位を四捨五入していますので、表示されている数値の合計が100%にならない場合があります。規模別配分の括弧内は時価総額を示しています。* グローバル株式は参考指数MSCIワールド・インデックス。** 前年比。
出所：I/B/E/S、AB

# 組入銘柄紹介① 気候

**投資テーマ：資源の効率利用　ドイツ／情報技術**

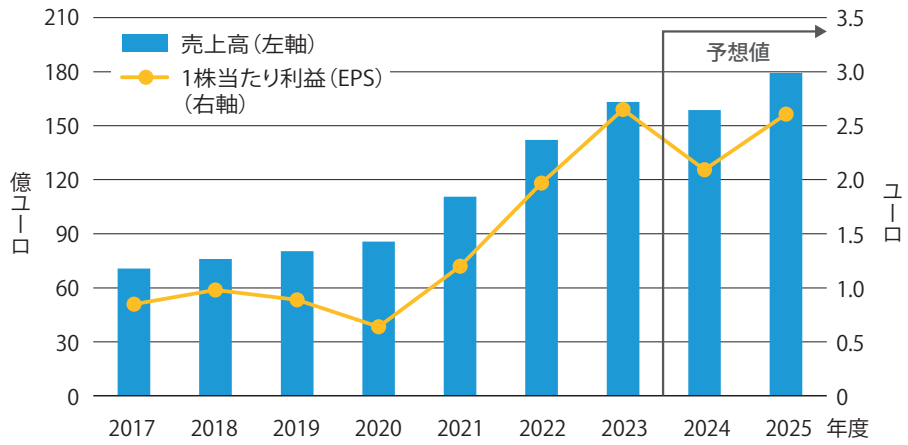
## インフィニオン・テクノロジーズ

### EV向けに高成長が期待されるパワー半導体の最大手



- 省エネに貢献するパワー半導体の最大手
- パワー半導体は電源の電力をコントロールし、機器の電力利用効率を高め、省電力化に効果を発揮。洗濯機から発電所まであらゆる機器に使用される「産業のコメ」
- 自動車がEV（電気自動車）/HEV（ハイブリッド自動車）化するなか、1台当たり搭載額増大とEV/HEV市場拡大により、更なる成長が見込まれる

**売上高と利益の推移***



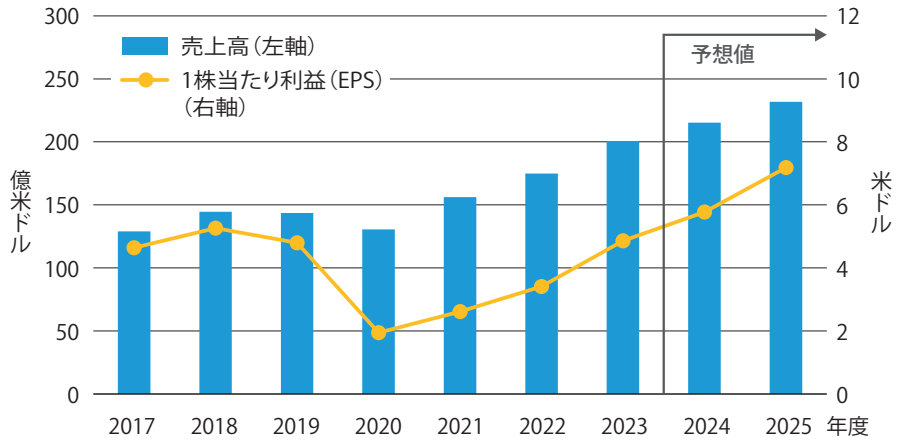

**投資テーマ：サステナブル・モビリティ　米国／一般消費財・サービス**

## アプティブ

### EVやその関連製品を手掛ける自動車部品メーカー

- EVやEV充電ステーション関連製品を製造
- 機械全般の設計・操作などにおける安全技術のうち、特に事故などを未然に防ぐ技術であるアクティブセーフティ機能をサポートするシステムを提供
- 同システムは、自動運転や車載コンピューティングシステムなどとともに今後構造的に成長するトレンドに牽引され、需要が拡大する見込み

**売上高と利益の推移***




過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。予想は今後変更される可能性があります。上記の個別の銘柄・企業については、あくまで当ファンドの説明のための例示であり、いかなる個別銘柄の売買等を推奨するものではありません。また当ファンドにおける組入れを示唆・保証するものではありません。画像はイメージです。

* 期間：2017年度－2025年度。2024年度以降は予想値。

出所：ファクトセット、AB

# 組入銘柄紹介② 健康

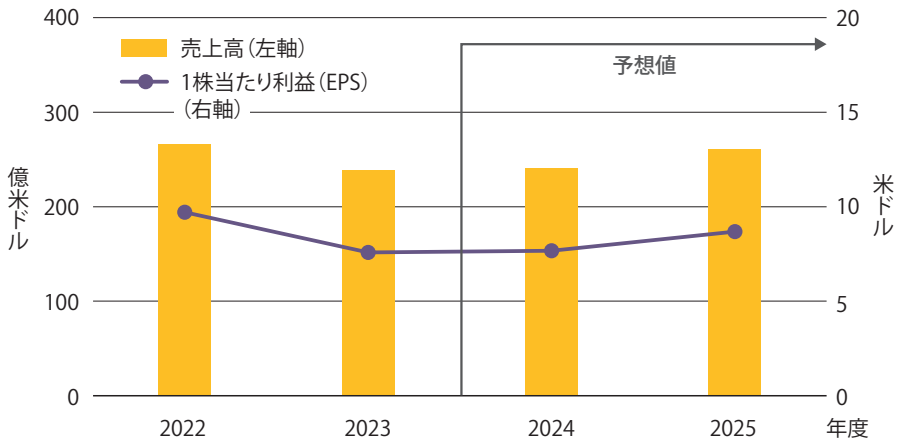
## 投資テーマ：良質な医療へのアクセス　米国／ヘルスケア

### ダナハー

**新薬の研究開発向けに幅広い機器・製品を提供**

- ゲノム解析・編集など最先端のバイオ研究開発向けの特殊機器に強み
- 特に、ゲノム編集技術を用いた合成生物学*市場は今後高い成長が見込まれ、多くのスタートアップが参入するなど“ゴールドラッシュ”さながらの活況を呈している
- 合成生物学の研究開発向け機器の需要は持続的な拡大が見込まれるなか、同社の競合は少なく、“採掘器具売り”のような立場でその恩恵を享受可能

**売上高と利益の推移****



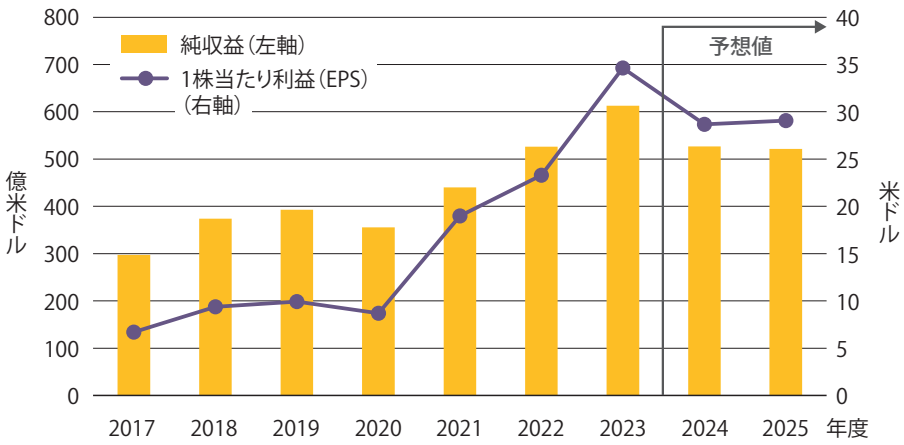

## 投資テーマ：食の安全とクリーンな水　米国／資本財・サービス

### ディアー

**世界最大の農業用機械メーカー**

- 世界各国で農業用機械を販売するメーカー
- 同社の製品は農業の効率化に加え、燃料および肥料の使用削減や、機械の排出CO2削減を可能に
- 新興国では農業の生産性向上を目的とした機械導入需要、先進国では就農者の減少や高齢化に伴う作業自動化へのニーズが存在するため今後の成長に期待

**純収益と利益の推移*****




過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。予想は今後変更される可能性があります。上記の個別の銘柄・企業については、あくまで当ファンドの説明のための例示であり、いかなる個別銘柄の売買等を推奨するものではありません。また当ファンドにおける組入れを示唆・保証するものではありません。画像はイメージです。

*　合成生物学とは、遺伝子など生物の構成要素を編集・設計することで目的物質を人工的に構築する学問分野。特に、環境負荷の大きい石油化学合成物質の代替として、消費財、化学製品、農産物など幅広い分野への応用が期待されている。

**　期間：2022年度－2025年度。2024年度以降は予想値。

***　期間：2017年度－2025年度。2024年度以降は予想値。

出所：ファクトセット、各社報告書、AB

# 組入銘柄紹介③ エンパワーメント

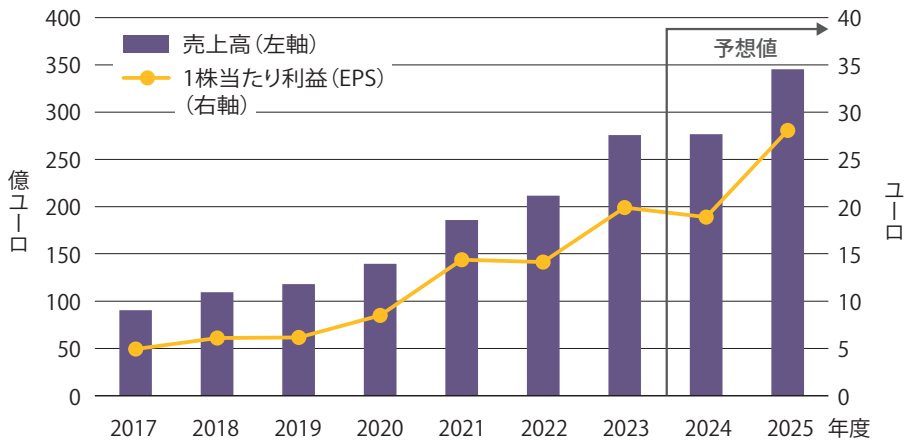
**投資テーマ：情報通信技術　オランダ／情報技術**

## ASMLホールディング

### 半導体露光装置において世界で圧倒的シェアを有するメーカー

- 半導体露光装置の世界最大手。回路の微細化に必要なEUV（極端紫外線）露光装置ではシェア独占
- 半導体の高性能化や、半導体を利用する最終製品の高機能化には、同社製品は不可欠であり、今後の成長が見込まれる

売上高と利益の推移*



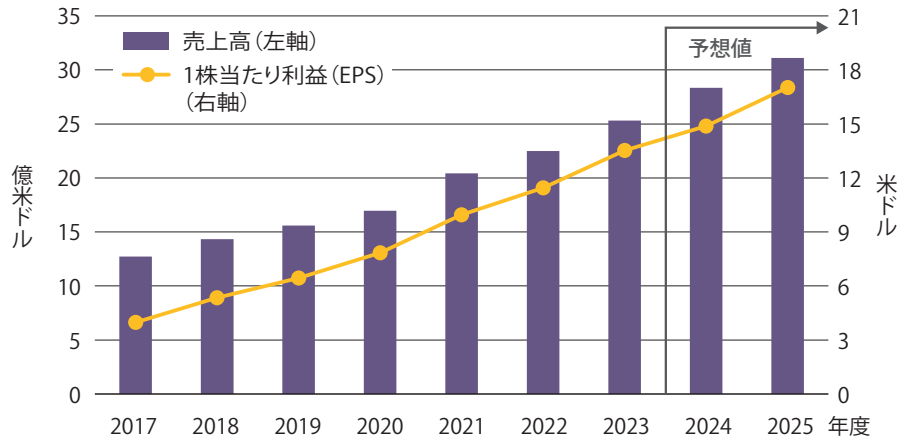

**投資テーマ：金融アクセス　米国／金融**

## MSCI

### ESG関連サービスで業界をリードするリーディング・カンパニー

- 金融機関向けにインデックスやデータ分析等のサービスを提供
- 特にESG格付やESGインデックス開発で差別化に成功
- 規制リスク分析に対する需要の高まりに加え、ESG投資需要の持続的拡大による恩恵を享受

売上高と利益の推移*




過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。予想は今後変更される可能性があります。上記の個別の銘柄・企業については、あくまで当ファンドの説明のための例示であり、いかなる個別銘柄の売買等を推奨するものではありません。また当ファンドにおける組入れを示唆・保証するものではありません。画像はイメージです。

* 期間：2017年度－2025年度。2024年度以降は予想値。

出所：ファクトセット、AB

# ファンドの特色

## 1 マザーファンド*を通じて、主として日本を含む世界各国の株式に分散投資します。

* マザーファンドは、アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンドです。

◇MSCIワールド・インデックス（配当金込み、円ベース）※を参考指数とします。

※MSCI Inc.が開発した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

## 2 成長の可能性が高いと判断されるセクターにおいて、環境や社会志向等の持続可能な成長が見込まれるサステナブル投資テーマに基づき、魅力的な銘柄に投資するアクティブ運用を行います。

◇運用にあたっては、グラスルーツ（草の根）リサーチに基づき、各産業に精通したアナリストによる徹底的な企業調査を実施します。
予想リターンと独自に算出する資本コストの差（スプレッド）に基づき、銘柄選定を行います。

## 3 マザーファンドの運用は、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーに委託します。

## 4 実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

## 5 ファミリーファンド方式で運用を行います。

◇ファミリーファンド方式とは、受益者の資金をまとめてベビーファンドとし、その資金の全部または一部をマザーファンドに投資することにより、実質的な運用はマザーファンドにて行うという仕組みです。

## 6 分配方針の異なる2つのコースがあります。

| コース | 決算頻度 | 分配方針 |
|---|---|---|
| 年2回決算型 | 年2回 | 原則、年2回の毎決算時に、収益分配方針に基づいて分配を行います。 |
| 予想分配金提示型 | 年12回 | 毎計算期末の前営業日の基準価額に応じた分配を目指します。** |

** 詳細は、19頁をご覧ください。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。
出所：AB

# アライアンス・バーンスタイン（AB）について

ABは責任投資にコミットします。

FUTURE OF ESG
Investing for a Sustainable Future

## ABのご紹介

- ABは米国を本拠とし、世界27の国・地域に拠点を有する世界有数の資産運用会社です。
- 豊富な経験と専門性で、お客さまの多様化するニーズに対応、世界の機関投資家、富裕層、個人投資家に質の高い運用サービスを提供しています。
- 日本においては、日本市場に最も早く進出した外資系資産運用会社の1つとして、30年以上の実績があります。

| 世界に広がる拠点 | 資産運用の歴史と経験 | 運用資産総額 |
|---|---|---|
| 54 都市 | 50 年超 | 約102 兆円 |

## ABの責任投資

| | |
|---|---|
| 約71 兆円 | ESG評価を運用プロセスに取り入れた戦略の運用残高 |
| ESG担当 100 名程度 | 責任投資関連の委員会に所属するプロフェッショナル |
| COLUMBIA CLIMATE SCHOOL THE EARTH INSTITUTE | 米コロンビア大学地球研究所とのパートナーシップ |

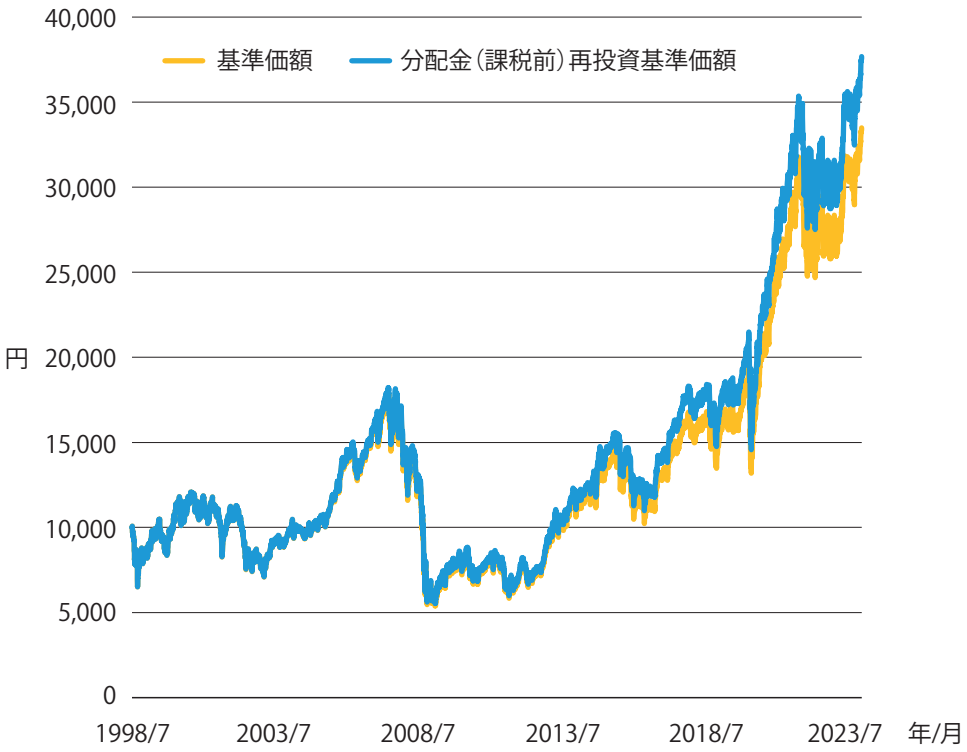
- ABにとって、責任投資とは、戦略的取り組みという域をはるかに超えた、企業の本質に関わる問題と捉えており、会社全体でコミットしています。
- ABは、運用資産の大半で、ESG（環境・社会・ガバナンス）の要素を、リサーチおよび運用プロセスに全面的に取り入れています。また、ABのアナリストは企業の経営陣と定期的に対話を行い、資本政策から情報開示に至るさまざまな問題について、企業の取り組みを評価し、その改善を促しています（エンゲージメント）。
- ABではESG投資に関するリサーチを強化する取り組みの1つとして、2019年に米国のコロンビア大学地球研究所と当分野で世界初のパートナーシップを締結し、気候変動と投資に関するアカデミーを開設しました。ABは、こうした取り組みを通じて、優れたリサーチや運用成果を投資家の皆様に提供できると確信しています。

2023年12月末時点。
出所：AB

# 設定来パフォーマンス（2024年1月末時点）

## 基準価額（1万口当たり）の推移と分配実績

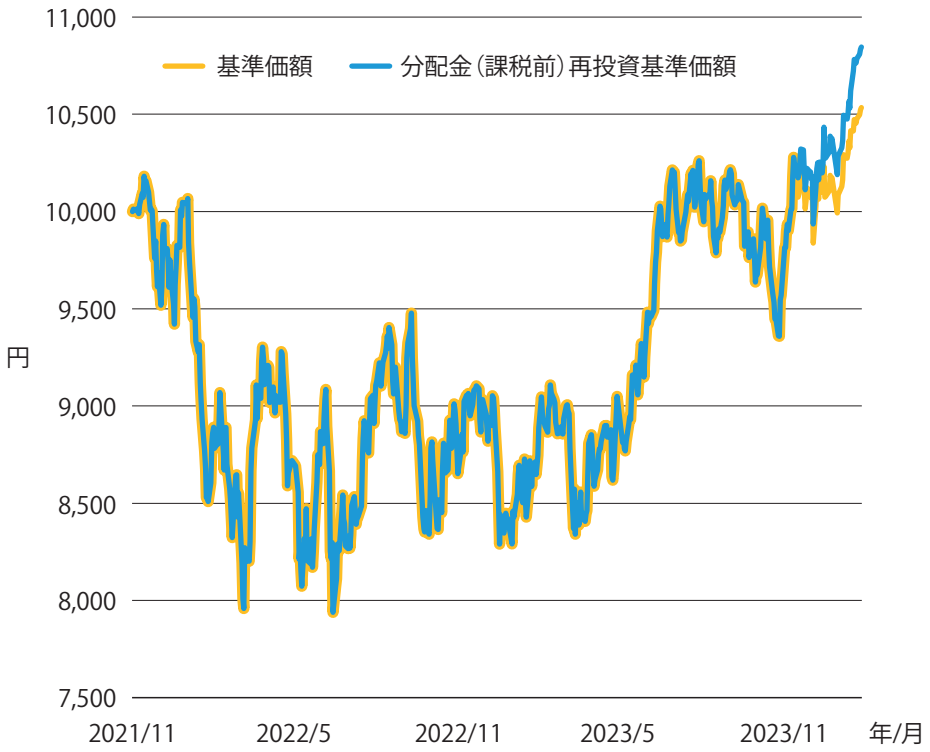
### （年2回決算型）*




1万口当たり、課税前、直近5期分

| 決算期 | 第47期<br>2022/1/20 | 第48期<br>2022/7/20 | 第49期<br>2023/1/20 | 第50期<br>2023/7/20 | 第51期<br>2024/1/22 | 設定来累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 分配金 | 40円 | 0円 | 0円 | 180円 | 150円 | 1,890円 |

### （予想分配金提示型）**




1万口当たり、課税前、直近5期分

| 決算期 | 第23期<br>2023/9/20 | 第24期<br>2023/10/20 | 第25期<br>2023/11/20 | 第26期<br>2023/12/20 | 第27期<br>2024/1/22 | 設定来累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 分配金 | 0円 | 0円 | 100円 | 100円 | 100円 | 300円 |

**過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。**
基準価額は、運用管理費用（信託報酬）控除後のものです。運用状況によっては分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。分配金（課税前）再投資基準価額とは、課税前分配金を決算日の基準価額で全額再投資したものです。税金、手数料等は考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。
* 期間：1998年7月31日（年2回決算型の設定日）－2024年1月31日。日次ベース。基準価額および分配金（課税前）再投資基準価額は1万口当たり。
** 期間：2021年11月4日（予想分配金提示型の設定日）－2024年1月31日。日次ベース。基準価額および分配金（課税前）再投資基準価額は1万口当たり。
出所：AB

# 投資目的に応じて分配方針の異なる2つのコース

## 年2回決算型とは

**原則、年2回の毎決算時（1月20日および7月20日。休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。**

## 予想分配金提示型とは

### Point 1　基準価額に応じて支払われる分配金の水準を提示

あらかじめ目標となる分配金額が、基準価額の水準に応じて提示されているので、お客さまにとってお受け取りいただく分配金額が分かりやすい仕組みです。

＜分配方針＞

原則として、毎決算時（毎月20日。休業日の場合は翌営業日）に、以下の方針に基づき分配します。

①計算期末の前営業日の基準価額に応じて、以下の金額の分配を目指します。

| 毎計算期末の前営業日の基準価額 | 分配金額（1万口当たり、税引前） |
|---|---|
| 11,000円未満 | 基準価額の水準等を勘案して決定 |
| 11,000円以上 12,000円未満 | 200円 |
| 12,000円以上 13,000円未満 | 300円 |
| 13,000円以上 14,000円未満 | 400円 |
| 14,000円以上 | 500円 |

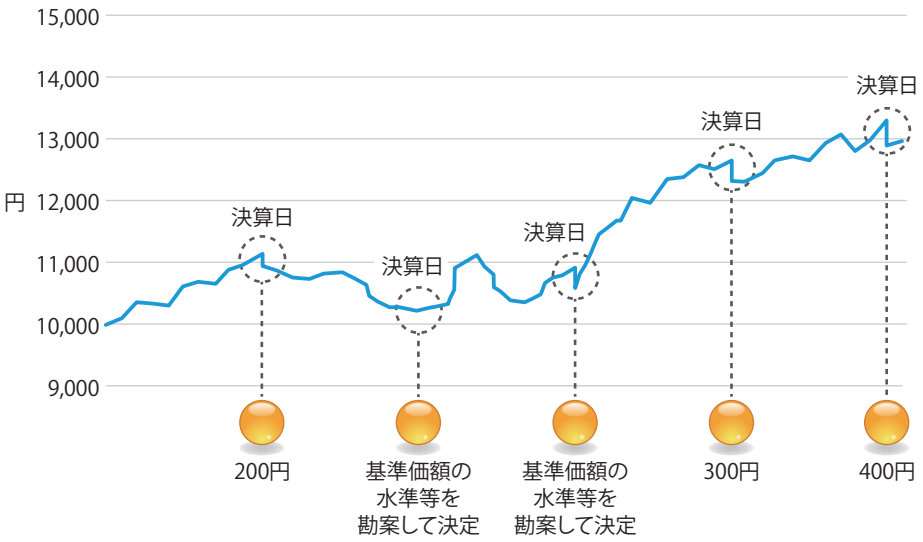
②分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。

③分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、将来の収益分配金の支払いおよび金額について保証するものではなく、分配対象額が少額の場合等には、収益分配を行わないこともあります。

### Point 2　基準価額の上昇に応じて、支払われる分配金が増加

基準価額の上昇に応じて、支払われる分配金額が増加します。分配金水準をあらかじめ提示しているので、受取額を見積ることができます。

基準価額と分配金のイメージ




※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありません。

※毎計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等、基準価額水準や市場動向等によっては、委託会社の判断で上記とは異なる分配金額となる場合や分配金が支払われない場合があります。
※基準価額に応じて、分配金額は変動します。基準価額が上記の一定水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。
※分配金を支払うことにより基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。
※分配方針の詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。
**収益分配金に関する留意事項については、22頁をご覧ください。**
出所：AB

# 当資料のご利用にあたっての留意事項

**当ファンドは、マザーファンドを通じて、値動きのある金融商品等に投資しますので、組入れられた金融商品等の値動き（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）により基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。当ファンドの運用による損益は全て投資者に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。**

- 投資信託は預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。
- 登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料は情報の提供を目的としてアライアンス・バーンスタイン株式会社が作成した販売用資料です。当資料は信頼できると判断した情報をもとに作成しておりますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。また、当資料に記載された意見・見通しは作成時点での当社の判断を反映したものであり、将来の市場環境の変動や、当該意見・見通しの実現を保証するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあります。当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。
- 当資料におけるSDGsのロゴ・アイコンは、情報提供目的で使用しています。国際連合が当ファンドの運用等についていかなる責任も負うものではなく、また支持を表明するものでもありません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があり、その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の６の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付けが中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。
- 当ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社において投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ずお受取りになり、記載事項をご確認のうえ、投資の最終決定はご自身でご判断ください。

**R＆Iファンド大賞2022について**

「R＆Iファンド大賞」は、R＆Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR＆Iが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR＆Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

# 当ファンドの主なリスク

**当ファンドは、マザーファンドを通じて主として株式などの値動きのある金融商品等に投資しますので、組入れられた金融商品等の値動き（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）により基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。当ファンドの運用による損益は全て投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**

## 基準価額の変動要因

### 株価変動リスク

経済・政治情勢や発行企業の業績等の影響で株価が変動し、損失を被るリスクがあります。

### 為替変動リスク

実質外貨建資産に対し原則として対円での為替ヘッジを行いませんので、基準価額は為替相場の変動の影響を受けます。

### 信用リスク

投資対象金融商品等の発行体が経営不安や倒産等に陥った場合に資金回収ができなくなるリスクや、それが予想される場合にその金融商品等の価格下落で損失を被るリスクがあります。また、金融商品等の取引相手方に債務不履行が生じた場合等には、損失を被るリスクがあります。

### カントリー・リスク

発行国の政治・経済・社会情勢の変化で金融・証券市場が混乱し、金融商品等の価格が大きく変動する可能性があります。一般に新興国市場は、市場規模、法制度、インフラなどが限定的なこと、価格変動性が大きいこと、決済の効率性が低いことなどから、リスクが高くなります。

### 流動性リスク

市場規模や取引量が限られる場合などに、機動的に金融商品等の取引ができない可能性があり、結果として損失を被るリスクがあります。

### 他のベビーファンドの設定・解約等に伴う基準価額変動のリスク

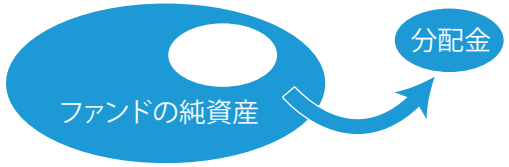
当ファンドが投資対象とするマザーファンドを同じく投資対象とする他のベビーファンドでの設定・解約等に伴うマザーファンドでの組入金融商品等の売買等が生じた場合、当ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。

**※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。**

# 収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

**ファンドで分配金が支払われるイメージ**

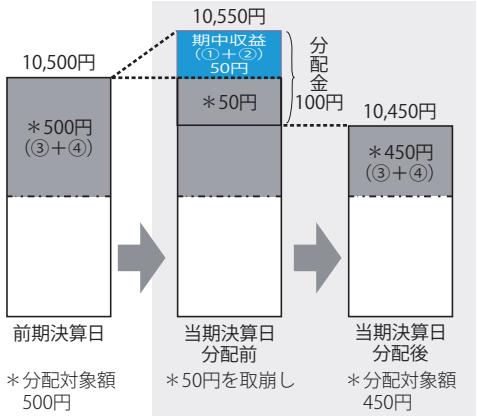



分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

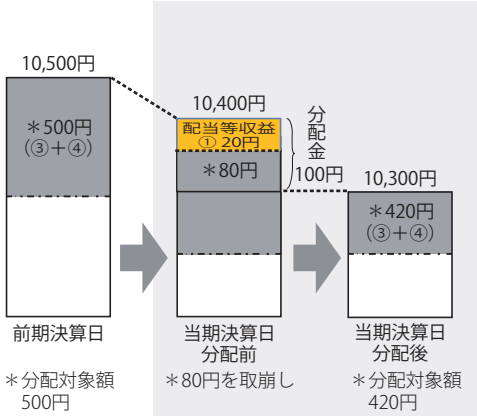
※右記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意ください。

**計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合**

前期決算日から基準価額が上昇した場合



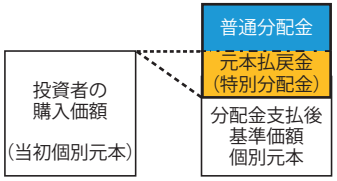

前期決算日から基準価額が下落した場合




（注）分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

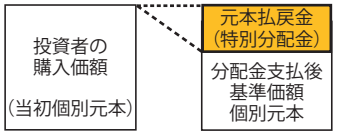
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合




※元本払戻金（特別分配金）は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金（特別分配金）部分は非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合




普通分配金　　：個別元本（投資者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

（注）普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## お申込みメモ

| | |
|---|---|
| 購入単位 | 販売会社が定める単位とします。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 |
| 購入価額 | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。 |
| 購入代金 | 販売会社が定める期日までにお支払いください。 |
| 換金単位 | 販売会社が定める単位とします。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 |
| 換金価額 | 換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。 |
| 換金代金 | 原則、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。 |
| 申込締切時間 | 原則、午後3時までに、販売会社が受付けを完了したものを当日のお申込み分とします。 |
| 購入・換金申込不可日 | ニューヨーク証券取引所の休業日には、購入および換金のお申込みはできません。 |
| 換金制限 | 信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金のお申込みには制限を設ける場合があります。 |
| 信託期間 | ■年2回決算型：無期限（信託設定日：1998年7月31日）<br>■予想分配金提示型：2032年1月20日まで（信託設定日：2021年11月4日） |
| 決算日 | ■年2回決算型：原則、1月20日および7月20日（休業日の場合は翌営業日）<br>■予想分配金提示型：原則、毎月20日（休業日の場合は翌営業日） |

## 収益分配

■年2回決算型：原則、年2回の毎決算時に、収益分配方針に基づいて分配を行います。
■予想分配金提示型：原則、毎月の決算時に、収益分配方針に基づいて分配を行います。
分配対象額は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、将来の収益分配金の支払いおよび金額について保証するものではなく、分配対象額が少額の場合等には、収益分配を行わないこともあります。
※「自動けいぞく投資コース」の場合、収益分配金は税引後再投資されます。

## 課税関係

個人の場合、原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時（スイッチングによる換金を含みます。）および償還時の譲渡益に対して課税されます。課税上は、株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。年2回決算型は、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。予想分配金提示型は、NISAの対象ではありません。配当控除および益金不算入制度の適用はありません。税法が改正された場合等には、内容が変更になる場合があります。

## お客様にご負担いただく費用

**お客様には下記の費用の合計額をご負担いただきます。なお、下記の費用は、お客様が当ファンドを保有される期間等に応じて異なるものが含まれているため、合計額を表示することができません。**

### ＜投資者が直接的に負担する費用＞

| | |
|---|---|
| 購入時手数料 | 購入価額と購入口数を乗じて得た金額に、販売会社が別に定める購入時手数料率（3.3%（税抜3.0%）を上限とします。）を乗じて得た額とします。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 |

### ＜投資者が信託財産で間接的に負担する費用＞

| | |
|---|---|
| 運用管理費用（信託報酬） | 純資産総額に対して年1.705%（税抜年1.55%）の率を乗じて得た額とします。<br>※ファンドの信託報酬は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産中から支払われます。<br>※マザーファンドの投資顧問会社の報酬は、委託会社の受取る報酬の中から支払われます。 |
| その他の費用・手数料 | ■年2回決算型：<br>金融商品等の売買委託手数料／監査費用／外貨建資産の保管等に要する費用／信託財産に関する租税／信託事務の処理に要する諸費用等<br>※投資者の皆様の保有期間中その都度かかります。なお、これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を表示できません。<br>■予想分配金提示型：<br>金融商品等の売買委託手数料／外貨建資産の保管等に要する費用／信託財産に関する租税／信託事務の処理に要する諸費用等<br>※投資者の皆様の保有期間中その都度かかります。なお、これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を表示できません。<br>監査費用／法定書類関係費用／計理業務関係費用／受益権の管理事務に係る費用等<br>※純資産総額に対して年0.1%（税込）の率を上限として、信託財産より間接的にご負担いただく場合があります（これらに該当する業務を委託する場合は、その委託費用を含みます。）。かかる諸費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産中から委託会社に対して支払われます。 |

## ファンドの主な関係法人

**【委託会社】アライアンス・バーンスタイン株式会社** www.alliancebernstein.co.jp
**【投資顧問会社】アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー**
**【受託会社】三井住友信託銀行株式会社**

当ファンドの最新情報はこちら